

BUSINESS REPORT

for the twelve-month period ended March 31, 2016

第91期 事業報告書

2015年4月1日～2016年3月31日

当社グループの業績

売上高	(前年同期比6.3%減) 38,252百万円
営業利益	(前年同期比6.6%増) 1,331百万円
経常利益	(前年同期比10.8%増) 1,475百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	(前年同期比25.2%減) 1,046百万円
一株当たり当期純利益	7円14銭

注記事項

※本報告書は平成28年4月28日発表の決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報、決算の詳細につきましては金融庁EDINET、当社ホームページ「IR情報」掲載資料にてご確認ください。

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年4月の熊本地震により、被災された株主の皆様には心からお見舞い申し上げます。

第91期の決算を終了いたしましたので、ここに当期の概況をご報告申し上げます。

事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、円安基調の継続や原燃料コスト安などもあり企業業績は堅調に推移し、上半期は緩やかな回復基調となりました。しかし、下半期は、中国や新興国等の経済の低迷や円高の進行もあり、弱含みで推移しました。

こうした経済環境のもと、我が国の鉄鋼業界におきましては国内需要及び輸出が低迷した結果、当年度の粗鋼生産量は前年度比5.2%減の1億418万トンとなりました。

また、特殊鋼業界におきましては、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は前年度比8.7%減の1,882万トンと2012年度以来の2,000万トン割れとなりました。

こうした中で、当連結会計年度の業績は、売上高38,252百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益1,331百万円(前年同期比6.6%増)、経常利益1,475百万円(前年同期比10.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,046百万円(前年同期比25.2%減)となりました。

(2ページに続く)

代表取締役社長

河瀬 昌博



対処すべき課題

今後の需要環境は、海外では、これまで成長セクターであった中国他新興国の成長鈍化や原油市況の低迷、国内では、少子高齢化に伴う需要減や為替の変動などにより、不透明な状況が続くものと考えております。

こうした環境の中、当社グループでは2016～2020年度グループ中期経営計画「CHANGE(Challenge And Generate) 20」を策定いたしました。当社グループは強靱な事業体質と安定した収益体質の構築に向け、企業体質を変革させてまいります。既存事業の更なる強化と将来の成長戦略展開の為、「挑戦」と「創造」に邁進いたします。

また、当社グループの行動規範である「社会と共生し、信頼される

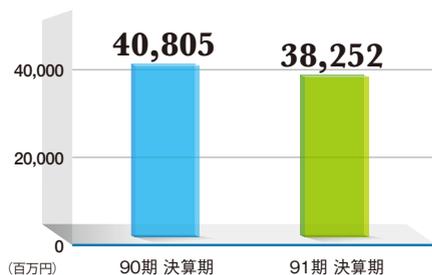
企業グループを目指す」を念頭に置き、安全活動、環境保全、防災対策、リスクマネジメント体制を強化するとともに、組織の活性化による明るい風土作りを図り、人材確保と育成に注力し企業基盤を強化してまいります。

株主の皆様には今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

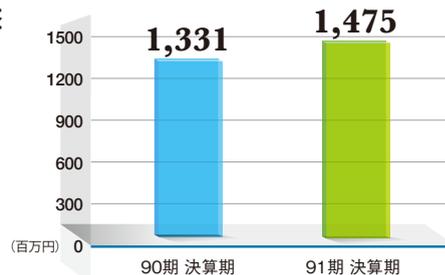
平成28年6月

》業績の推移(連結)

売上高



経常利益



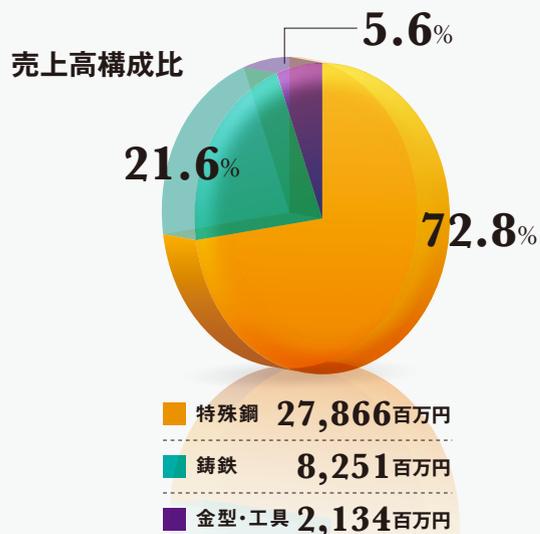
親会社株主に 帰属する 当期純利益



1株当たり 当期純利益



》セグメント別概況(第91期 決算期)



■ 特殊鋼	27,866百万円
■ 鑄鉄	8,251百万円
■ 金型・工具	2,134百万円

■ 鑄鉄部門

8,251百万円(21.6%)

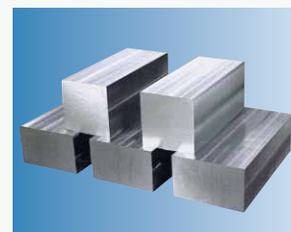
当年度の売上数量は、産業機械向けや建設機械向けを中心に減少しました。この結果、当連結会計年度の売上高は8,251百万円(前年同期比6.9%減)となりました。損益面では、原燃料コスト安に加え、生型新造形設備更新による生産コストの改善もあり、営業利益は495百万円(前年同期比27.6%増)となりました。



■ 特殊鋼部門

27,866百万円(72.8%)

当年度は需要環境が全般的に低迷したことにより、工具鋼、特殊合金及び軸受鋼の各製品分野とも売上数量は前年同期から減少し、加えて販売価格も下落したことから当連結会計年度の売上高は27,866百万円(前年同期比6.7%減)となりました。損益面では、原燃料コスト安などの損益改善要素があったものの、売上数量の低迷や労務費などの固定費増加等から、営業利益は705百万円(前年同期比14.9%減)となりました。



■ 金型・工具部門

2,134百万円(5.6%)

自動車向けを中心に金型関連需要は堅調に推移し、当連結会計年度の売上高は2,134百万円(前年同期比3.0%増)となりました。損益面では、高付加価値製品の拡販による製品構成の改善や生産性向上もあり、営業利益は130百万円(前年同期比307.0%増)となりました。



CHANGE (Challenge And Generate) 20

経営方針

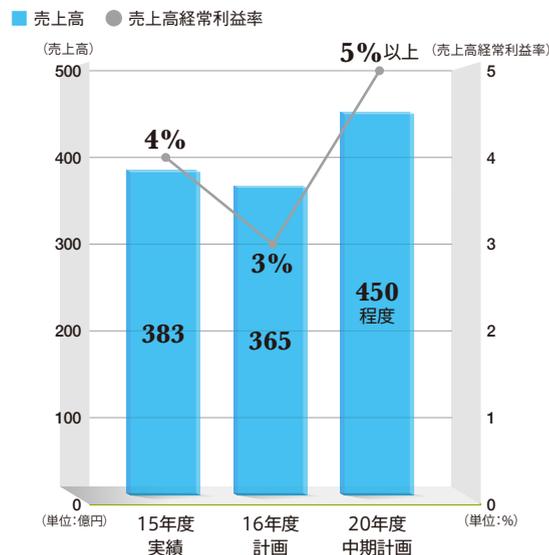
当社グループは、工具鋼、特殊合金の非量産型高級特殊鋼製品、鋳鉄製品及び金型・工具製品の製造販売を通じ、幅広い産業分野(自動車、エレクトロニクス、産業機械、エネルギー、住宅他)へ優れた製品を提供して顧客及び社会に貢献してまいります。

中期基本方針 (20年度VISION)

- ブランド力向上 – 高付加価値の推進
- Q(品質)、C(コスト)、D(納期)競争力の強化
- 事業領域の拡大
- KOBELCOグループにおける役割強化

数値目標

■ 売上高 / 売上高経常利益率



部門別重点施策

■ 特殊鋼部門

- ①高付加価値製品の拡大
 工具鋼分野：高級金型用鋼、素形材を重点分野として拡大を図ってまいります。
 特殊合金分野：小ロット対応力を活かした溶材、特殊品分野での需要の取り込みに加え、高機能自動車部材への拡販を推進いたします。
 両分野共通：拡販支援の為、要員増強により技術サポート機能を強化してまいります。
- ②コスト競争力強化
 共通的な製造コスト低減と重点製品の製造コスト低減に向け、設備投資を積極的に実施いたします。
- ③技術開発の推進
 2016年度以降の事業の柱となる製品の創出を図ってまいります。また、生産技術も継続して強化してまいります。
- ④品質の向上
 設備管理の徹底により操業トラブル起因の不良損失低減を図るとともに、計測装

- 置の導入推進により品質の見える化を強化し品質の向上に注力いたします。
- ⑤安定生産の維持
 設備管理機能強化(要員増強他)により故障リスクの低減に努めます。また、重要予備品の充実により、重大故障発生時の休止期間のミニマム化を図ってまいります。
- ⑥KOBELCOグループとしての役割強化
 小ロット特殊品の取り込みを進めてまいります。

■ 鋳鉄部門

事業基盤を整備し、安定的に売上高100億円を超える事業規模を目指すとともに品質及びコスト競争力の強化により収益力を強化してまいります。

■ 金型・工具部門

高付加価値製品の拡販に加え、設計から一貫したツーリングメーカーへの展開を図るとともに、設備投資によりコスト競争力の強化に取り組んでまいります。

》第92期業績予想

平成28年4月28日に発表いたしました通期の業績予想は以下の通りです。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益
36,500 百万円	960 百万円	1,030 百万円	920 百万円	6.28 円

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化により異なる業績結果となることもありますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えていただきますようお願いいたします。

》配当状況

当社は定款において9月30日(第2四半期末日)及び3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

	一株当たり配当金(円)			配当金総額 (年間) (百万円)	配当性向 (連結) (%)	純資産配当率 (年間) (%)
	中間期末	期末	年間			
第92期	未定	未定	未定	—	—	—
第91期	0.00	1.50	1.50	219	21.0	1.2

GROUP TOPICS

ホットスタンピング金型用新鋼種 「KDAHP1」の販売開始

当社は、2015年12月より、国内および中国の自動車関連メーカーに、ホットスタンピング用熱間工具鋼「KDAHP1」の販売を開始しました。

ホットスタンピングとは、自動車の構造部品等をプレス成形する技術の1つで、加熱した鋼板をプレス金型で挟んで成形と同時に熱処理をして強度を高める方法です。

この金型用の素材には、一般的には熱間工具鋼の「SKD61」という鋼種が多く使用されておりますが、金型が摩耗する、金型に製品が凝着するなどにより、金型が短寿命になるという課題があります。

このような課題を改善したものが新鋼種の「KDAHP1」で、今後はSKD61からの置き換えを進めるべく、国内・中国のみならず、東南アジア・欧州の自動車関連メーカーへの拡販を展開してまいります。

ワイヤー放電加工機導入

高周波精密は2016年2月にワイヤー放電加工機を更新しました。

更新機の特徴は、従来機に比べ、加工精度が高く同社の極製品※により適したスペックであること、同じ消費電力でも、ハイパワーのため加工時間の短縮ができます。また、ワイヤーを自動で穴に通す自動結線機能や製品の自動測定機能が加わることで、段取りの時間も大幅に短縮でき、総じて、高い生産性を実現するところにあります。

同社は、今後とも超精密加工と設計解析技術の向上を追求してまいります。

※極製品：寸公差が±5ミクロン以下、表面粗さが0.42以下（Zは表面粗さを表す単位）、素材硬さHRC60以上（HRCは硬さを表す単位）、の条件を満たす高精度金型をいい、高周波精密のオリジナルブランドです。



》連結財務諸表

連結貸借対照表

	平成27年度 (平成28年3月31日現在)	平成26年度 (平成27年3月31日現在)
資産の部	39,955	40,882
流動資産	18,823	19,576
現金及び預金	146	195
預け金	889	261
受取手形及び買掛金	7,361	7,761
製品	3,099	3,134
仕掛品	3,689	4,370
原材料及び貯蔵品	3,117	3,229
繰延税金資産	424	522
その他	103	112
貸倒引当金	△10	△12
固定資産	21,132	21,306
有形固定資産	19,297	19,305
建物及び構築物	3,600	3,606
機械装置及び運搬具	6,635	6,635
土地	8,497	8,507
その他	564	555
無形固定資産	97	106
投資その他の資産	1,737	1,894
投資有価証券	914	1,025
退職給付に係る資産	482	489
繰延税金資産	119	106
その他	251	303
貸倒引当金	△30	△30
資産合計	39,955	40,882

(単位:百万円)

	平成27年度 (平成28年3月31日現在)	平成26年度 (平成27年3月31日現在)
負債の部	20,483	22,222
流動負債	14,448	16,034
支払手形及び買掛金	6,124	7,527
短期借入金	3,986	4,268
1年内返済予定 長期借入金	483	326
未払費用	1,865	2,146
賞与引当金	480	455
その他	1,508	1,309
固定負債	6,035	6,188
再評価に係る 繰延税金負債	1,783	1,884
退職給付に係る負債	3,261	3,268
その他	989	1,036
純資産の部	19,472	18,659
株主資本	18,415	17,689
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,139	1,139
利益剰余金	1,642	915
自己株式	△37	△35
その他の包括利益累計額	1,056	970
その他有価証券 評価差額金	113	188
土地再評価差額金	1,346	1,220
退職給付に係る 調整累計額	△402	△438
負債・純資産合計	39,955	40,882

単位未満切捨て

連結損益計算書

(単位:百万円)

	平成27年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	平成26年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高	38,252	40,805
売上原価	33,116	35,745
売上総利益	5,135	5,060
販売費及び一般管理費	3,804	3,811
営業利益	1,331	1,249
営業外収益	278	232
営業外費用	133	149
経常利益	1,475	1,331
特別利益	0	619
特別損失	135	575
税金等調整前 当期純利益	1,340	1,375
法人税、住民税 及び事業税	169	112
法人税等調整額	125	△134
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,046	1,398

単位未満切捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	平成27年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	平成26年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,207	1,761
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,119	△1,035
財務活動による キャッシュ・フロー	△507	△1,042
現金及び現金同等物 の増減額(減少△)	579	△316
現金及び現金同等物 の期首残高	456	772
現金及び現金同等物 の期末残高	1,036	456

単位未満切捨て

》会社データ

会社概要(平成28年3月31日現在)

会社名	日本高周波鋼業株式会社
設立	昭和25年5月18日
資本金	156億69百万円
所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TEL 03-5687-6023(代) FAX 03-5687-6047
上場	東京証券取引所1部上場
売上高	連結 382億52百万円(平成27年度実績) 単体 252億79百万円(平成27年度実績)
従業員数	連結 1,196名 単体 527名
事業内容	高級特殊鋼および特殊合金の 線・棒・鍛造品・加工品・冷間圧造品等の製造販売
主要取引銀行	みずほ、三井住友、三菱東京UFJ、 みずほ信託、三菱UFJ信託、富山第一

役員(平成28年6月24日現在)

代表取締役社長	河瀬 昌博	取締役	黒須 信之
代表取締役専務	久留島 靖章	取締役	丹羽 範光
常務取締役	山名 壽	取締役	宮島 哲也
取締役	湖東 彰弘	監査役	古瀬 司
取締役	堂野 和洋	監査役	中條 芳治
取締役	中尾 大輔	監査役	松本 博明
取締役	堀川 健一	監査役	小松 伯正
取締役	定村 剛		

(注) 1. 丹羽範光、宮島哲也の両氏は社外取締役であります。
2. 松本博明、小松伯正の両氏は社外監査役であります。

》株主データ(平成28年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 240,000,000株
発行済株式の総数 146,584,810株(自己株式 291,364株を除く)
株主数 12,144名

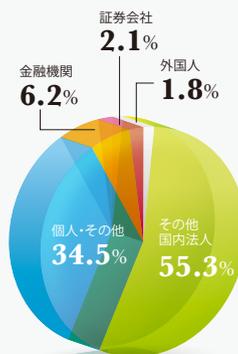
●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社神戸製鋼所	75,753	51.67
浅井産業株式会社	2,712	1.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,847	1.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,193	0.81
豊田通商株式会社	1,100	0.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	987	0.67
林 良策	880	0.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	848	0.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	842	0.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	833	0.56

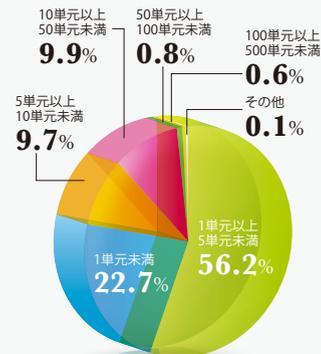
(注) 持株比率は自己株式(286千株)を控除して計算をしております。

株式分布状況

●所有者別株式数



●所有単元数別株主数



日本高周波鋼業株式会社

本社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル8階
TEL 03-5687-6023(代) FAX 03-5687-6047

大阪支店

〒530-0022 大阪府大阪市北区浪花町12-24 赤坂天六ビル7階
TEL 06-4802-1480(代) FAX 06-4802-1481

名古屋支店

〒489-0071 愛知県瀬戸市暁町9 株式会社カムス 中部テクノセンター内
TEL0561-86-9005 FAX0561-86-9008

Bangkok Liaison Office

39/9 Rama 3Rd., Chongnonsee, Yannawa, Bangkok
10120, Thailand
TEL 66-2294-9258 FAX 66-2294-9260

富山製造所

〒934-8502 富山県射水市八幡町3-10-15
TEL 0766-84-3181(代) FAX 0766-84-3468

グループ会社

高周波鑄造株式会社

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108
TEL 0178-43-0127 FAX 0178-22-2468

高周波精密株式会社

〒272-0003 千葉県市川市東浜1-1
TEL 047-328-3201 FAX 047-328-6797

株式会社カムス

〒373-0014 群馬県太田市植木野町328
TEL 0276-40-5005 FAX 0276-40-5008

エヌケイ精工株式会社

〒934-0025 富山県射水市八幡町3-10-15
TEL 0766-84-3175 FAX 0766-84-3137

麦卡発商貿(上海)有限公司

上海市徐匯区肇嘉浜路777号 青松城大酒店10階1004号
TEL 86-21-6443-5061 / 5062 FAX 86-21-6443-5066

株式会社東北コアセンター

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108 高周波鑄造内
TEL 0178-46-1856 FAX 0178-43-0153

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中に開催

株主名簿管理人 〒103-8670 東京都中央区八重洲1-2-1

事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部

1単元の株式数 1,000株

公告方法

電子公告により行います。

公告掲載URL ▶ <http://www.koshuha.co.jp>

ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

●郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配 当金受取り方法の 変更等)	お取引の証券会社等 になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 フラネットプース(みずほ銀行内の 店舗)でもお取扱いたします みずほ信託銀行 本店および全国各支店※ ※トラストラウンジではお取扱でき ませんのでご了承ください。
未払配当金 のお支払	みずほ信託銀行※およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の 「特別口座の場合」の郵便物送 付先・電話お問い合わせ先・各種手 続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買 取・買増以外の株式売買はできませ ん。証券会社等に口座を開設し、株 式の振替手続を行っていただく必 要があります。

当社のホームページでも
詳しい情報を同時に開示しております。
ぜひ併せてご覧ください。

<http://www.koshuha.co.jp>

日本高周波 |

検索

